

2013年(平成25年)

6月19日

Elderly Press Newspaper
エルダリープレス ニュースペーパー

(毎週水曜日発行)

第259号

週刊 高齢者住宅新

(株)高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-
http://koureisha-jutaku.com 発行人 西岡一紀 年間購読料 21,000円

トックス



▲茨木・摂津拠点での清掃活動の様子

「少子高齢社会の進展で介護の問題がク

れたのは1994年。高畑敬一会長は「少子高齢社会の進展で介護の問題がク



ナルク
高畑敬一 会長

「時間預託制」実施

庭の手入れ、家事援助、送迎、公園の清掃、子育て支援、話し相手……。介護保険制度ではカバーされない隙間のサービスをボランティアの形態で提供。担い手は主婦や会社を定年退職した男性など中高年

NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC、大阪市)は、自立や助け合い、奉仕、生きがいなどをテーマに中高年者が集まり地域貢献となる事業を展開。20年ほど前に「時間預託制度」という独自の仕組みを作り上げ、今では全国130拠点で約3万名が活動している。「ナルク」の取り組みを紹介する。

会員相互で助け合い

「継続型」「事業型」で手掛けていくことを志向。考え出したのが「時間預託制度」という仕組みだ。

全国130拠点、3万人活動

時間預託制度の基本は会員同士の助け合い。ボランティアにかけた時間を1時間1点としてナルクに預託。自分や親・配偶者が困った時に預託しておいた点

結成1年後の阪神大震災の際、またボランティア活動が目立っていなかった中、2年間にわたり延べ4500人が手弁当・旅費持ちで2万時間の救済・奉仕を行った。

わらず、「継続型」「事業型」で手掛けていくことを志向。考え出したのが「時間預託制度」という仕組みだ。

「継続型」「事業型」で手掛けていくことを志向。考え出したのが「時間預託制度」という仕組みだ。

ナルクでは孤独死ゼロを目指し、高齢者単独世帯の見回りにも注力。今後は市民サイドの発想で地域包括ケアの確立を図るとともに、行政をはじめ地域包括支援センター、社会福祉協議会などとの連携も強化していく。

ローズアップされ始めた時期。ボランティアで社会に役立つことをしたかった」と当時を振り返る。

現在北海道から九州まで130拠点を網羅。遠く離れた故郷に住む両親の介護や、故郷に残した墓の掃除を依頼するなど遠距離サポート

本部では普及・啓発を推進するため、介護サポーターやリーダーなどの養成講座、さらには各拠点で「助け合い」のコーディネート役を務める人材養成講座を実施。会員となるための年会費は3000円(夫婦二人でも同じ金額)。